

◇佐々木美建(岡崎市)

ふたみ みちはる  
二見 道春さん

(58歳)

# 「父の勧めで左官の道に」



長年にわたって左官一筋は大きく変わる。で仕事を続けてきた。自ら 苦勞することの一つとして技術はもとより、職長として若手の指導や仕事の段取り、およそ左官にかかわる仕事すべて高い次元でこなしている。

左官の道に進んだのは父親の勧めだったそうだが「たまたま自分に合っていたのでしょね」と言うように、以来この道一筋。「人から褒められるのはうれしいし、それが続ける原動力になる」と言う。

左官仕事で使う材料は生き物だ、ポイントを逃すときれいに仕上がらない。コンクリートを打ち始めると、夏場などは昼飯だ休憩だの時間は関係ない。天気や材料、季節などの状況によって一日の仕事の段取り

若手に対するアドバイスはどの問いに「とにかく辛抱すること。仕事を通じて達成感を得られるようになるまで続けなさい。それができないようなら左官に限った話ではなく、どの仕事ものにはならない。納得いくまでとことんやってみるしかない」と語る。

